

これからの富士宮を創る広報誌

So good!

創宮

- 渡邊繁樹大阪府副知事とふるさとを語る
- 整備が進む富士宮市の公共施設
- よみがえる 音止の滝の絶景

So good! vol.45



西の大都市で活躍中
わたなべ しげき

渡邊繁樹 大阪府副知事 × **須藤秀忠** 富士宮市長
ふるさとを語る

渡邊繁樹大阪府副知事×須藤秀忠富士宮市長 ふるさとを語る



渡邊大阪府副知事(写真左)と須藤市長

市内宝町出身の渡邊繁樹さんは、令和5年7月から西の大都市・大阪府の副知事として活躍されています。渡邊副知事が須藤市長を訪れ、副知事と市長、それぞれの立場からまちづくりや、ふるさと富士宮市の魅力、富士山の恵みなどについて語り合いました。

国家公務員を目指したきっかけ

須藤市長

今日は、お忙しい中ありがとうございます。

私と副知事のご縁は、私が以前住んでいた家が副知事のご実家の近所で、副知事のお父様は学校の先輩であり、お互いのこどもも年齢が近いこともあって、昔から家族ぐるみのお付き合いをさせていただいております。

渡邊さんが、大阪府の副知事という要職を務められていることは、私個人としてもうれしく、一市民としても大変名誉なことだと思います。

渡邊副知事

私が小学生の頃、市長は市議会議員でした。選挙の開票日には、選挙事務所に沢山の人が詰めかけ、お祭りのようだったのを覚えています。

須藤市長

副知事が大学に合格された時に、御親族で祝賀会が開催され、私もお招きいただきました。あれからもう30年も経つんですね。

副知事は、勉強も抜群でしたが、高校時代には山岳部に所属するなど、まさに文武両道でしたね。ところで、副知事が国家公務員を目指されたきっかけを教えてくださいませんか。

渡邊副知事

はい。市長や私の父が、地域や社会のために、青年団活動に熱心に取り組む姿や、市議会議員として活躍される市長を間近に見て、「まちおこし」や「地域づくり」、

今でいう「地方創生」に興味を持ちました。

そして、ふるさとの富士宮市をはじめ、全国のまちを良くするための仕事をしたいと思い、自治省(現総務省)を目指しました。



東京大学(文科一類)合格祝賀会での渡邊副知事と須藤市長

国家公務員、地方公務員として

須藤市長

副知事は、地方自治体での経験も豊富ですね。

渡邊副知事

はい。現在の大阪府のほか、島根県や埼玉県、山口県でも職員として仕事をしました。私のキャリアの半分、15年くらいは地方自治に携わっています。第二のふるさととも沢山できました。

島根県は、松江城周辺の町並みや宍道湖などの景観の素晴らしさに加え、日本三大茶会の一つ「松江城大茶会」が毎年開催され、職場でも茶道が話題に上るなど、

茶の湯が浸透していて、文化の香り高い地域でした。

埼玉県では、平成の大合併の最中に市町村合併を担当し、大変でしたが、いろいろな市町村に行き、様々な方に会うことができ、とても勉強になりました。

また、日本のあちこちに行ってみて、富士宮市や静岡県がとても恵まれた地域であることを改めて感じました。

須藤市長

総務省やデジタル庁では、自治体の業務システム標準化やマイナンバーカード制度などの職務に従事されていたとお聞きました。

デジタル庁にいらした時には、当市からも職員を派遣し、良い経験をさせていただきました。

渡邊副知事

デジタル庁では、私の部署にいた40人程の職員のうち、24人は、全国の市町村から派遣していただいた職員でした。



富士宮市から派遣していただいた職員も非常に頑張ってください、周りからも一目置かれる存在でした。私の方も、沢山の自治体職員との関わりを通じて、色々なことを教わりました。

大阪府と万博について

須藤市長

令和5年7月に、大阪府副知事に就任されました。どんなきっかけだったのですか？

渡邊副知事

私の前の副知事も総務省から出向しており、その後任として私が出向することになりました。

須藤市長

最近の大阪の様子は、どのような感じですか。

渡邊副知事

私の中で、大阪府といえば、10年前、20年前の「財政危機」のイメージがありましたが、近年は財政状況も改善し、さらに最近ではインバウンドや万博の効果もあって、力強さを感じます。

今、大阪では、府と市が協力して、大阪駅直結の大きな都市公園をつくらせたり、大阪駅から難波まで続くメインストリート「御堂筋」の6車線道路を、将来的には、車が通らない歩行者空間にする構想もあるなど、東京とはまた違った方向性で、車ではなく、人が中心のまちづくりを進めており、非常に面白い時期を迎えています。

須藤市長

いよいよ大阪・関西万博が迫ってきましたね。

実は、富士宮市も1日だけですが、ブースを出展し、食や観光のPRを行います。

地元・大阪での万博の盛り上がりはいかがですか？

渡邊副知事

はい。メディアへの露出も多く、万博のラッピング電車も走り、かなり盛り上がっています。

また、各国のパビリオンも楽しみです、大阪パビリオンでは、最先端のヘルスケア体験に加え、大手ゲーム会社による「圧倒的没入感」を味わえるアトラクションもあります。ぜひご期待ください。

ふるさと富士宮市への思い

須藤市長

最後に、ふるさと富士宮市に対する思いなどをお聞かせください。

渡邊副知事

はい。私にとって富士宮市は、大好きな自慢のふるさとです。

街中の至る所から、これだけ美しい富士山の姿、それも頂上から山裾までが見えるまちは、全国的にもないと思います。そして、何と言っても水がきれいでおいしく、食材豊富で、産業も盛んなポテンシャルの高いまちだと思います。

須藤市長

ありがとうございます。私も市内から見える富士山の眺望は日本一だと思います。私たちには、この美しい眺望を守っていく責任があります。ですから、建築できる建物の高さ制限も設けています。

渡邊副知事

景観を損ねるような高い建物が建ってしまって、問題になっているというニュースをよく目にしますね。富士宮市は大丈夫だと知って、安心しました。

これからもよろしくお願ひします。

須藤市長

分かりました。大都市大阪府の副知事という重責、本当に大変ですが、頑張ってください。市民一同応援しています。

本日は、ありがとうございました。



渡邊 繁樹(わたなべ しげき)さんプロフィール

・昭和47年6月宝町生まれ

・貴船小―三中―富士高―東京大学(法学部)卒業

【経歴】平成7年自治省(現総務省)入省。内閣府、デジタル庁、鳥根県、埼玉県、山口県などを経て令和5年7月から大阪府副知事。大阪府では財務、福祉医療、デジタル改革などを担当

【趣味】乗り鉄を中心とした旅行、山歩き、最近では、大阪、京都、奈良などの街歩き

整備が進む富士宮市の公共施設

市では現在、老朽化した施設の改修や新たな施設の建設を行っています。
完成イメージ図を用いて各施設を紹介します。

市民文化会館 令和8年4月リニューアルオープン予定（令和7年10月1日利用予約開始）



昭和56年に開館した市民文化会館では、耐震補強工事と老朽化に伴う改修工事を行っています。

耐震性能の向上に加え、屋根や外壁の全面改修や内装、設備のリニューアルを行っています。

内装は、木を基調とした落ち着いた雰囲気になります。

また、大ホールの座席は、横幅や前後の間隔を広げ、ゆったりと座れるようになります。

館内のトイレは、全て温水洗浄機能付きの洋式トイレに変更し、授乳室を新設するなど、利用者の利便性も大きく向上します。

▲生まれ変わる「文化の殿堂」市民文化会館



▲大ホール入口ホワイエ



▲快適性を高めた大ホールの座席 (座席数は1,218席から922席に)



▲1階ギャラリーコーナー



▲2階展示室は可動式のパネルやスポットライトにより、様々な展示に対応できます



▲屋根や外壁も全面改修します

【リニューアルで変わります】

- ・段差がある場所へスロープを設置したり、出入口を自動ドアにするなど、バリアフリー化を図ります
- ・大ホール・小ホールの照明を環境に配慮したLED照明に変更し、音響設備を更新します
- ・建物東側に屋根付きの車いす利用者用駐車場を設置します

富士根交流センター 令和8年2月オープン予定



富士根地域における社会教育活動や交流活動の拠点となる富士根交流センターの建設を行っています。現在は、建物部分の基礎工事を行うなど、順調に建設が進んでいます。



▲1階に図書室やこどもの遊び場を設けます



▲他の交流センター同様、証明書発行も行います



【富士根交流センターの概要】

所在地：大岩1661番地の1

構造：鉄筋コンクリート2階建

延床面積：1,169.54㎡

(1階818.62㎡、2階350.92㎡)

駐車場：128台(うち身体障がい者用4台)

センターの隣の敷地には、公園や大型防災倉庫、放課後児童クラブが設置され、富士根地域の市民活動の拠点としての活用が期待されます。

外神東公園 令和7年8月 県下最大級の複合遊具が完成予定

所 外神東町113



現在、県下最大級の大型複合遊具の設置工事を行っています。さらに、既存遊具の集約化、駐車場の増設、トイレの改築、イベント広場の設置なども計画しています。今後も市内各所で、こどもたちが安心して楽しく遊べる公園の整備を進めていきます。

城山公園 令和8年夏 野球場がリニューアルオープン予定 (防球ネット、ダッグアウト・バックネット裏本部席、外野天然芝などを改築)

所 元城町1689



公園の北西部分には、令和9年春のオープンを目指し、複合遊具のある芝生広場の整備を計画しています。なお、野球場は、オープン後も浅間大社への初詣、お祭り際の駐車場として利用できます。

富士宮駅前広場 富士宮市の玄関口が生まれ変わります



富士宮駅北口のペDESTリアンデッキの改修工事が続いています。バリアフリー化のためのエレベーターの設置やトイレのリニューアル、待合所の整備や照明の改修を通じ、富士宮市の玄関口にふさわしい装いに生まれ変わります。



▲工事後、2階部分にトイレが設置され、1階北側に横断歩道の新設を検討しています



▲タクシー乗り場に新設されたエレベーター



▲工事中もバスターミナル等の利用を妨げないように部分ごとに工事を進めています

【富士宮駅前広場の概要】

所在地：中央町125-1

面積：5,200㎡

JR富士宮駅は、毎日約4,000人が利用しており、現在整備中の富士宮駅前広場は、鉄道とバスやタクシーをつなぐ、交通ネットワークの中心として重要な役割を果たしています。

昭和初期の音止の滝

生活に使うまきを作るために、樹木が定期的に伐採されることで、音止の滝から富士山を眺めることができませんでした。



整備前（令和5年）

まきの需要が減り、定期的な伐採が行われなくなったため、樹木が生い茂り、富士山の山頂部分しか見えませんでした。



整備後（令和7年）

眺望を妨げていた人工林を間伐・伐採することで、富士山の山裾まで見えるようになり、絶景がよみがえりました。



よみがえる音止の滝の絶景



白糸の滝の東側にある「音止の滝」は、高さ25メートルの絶壁から轟音を響かせ流れ落ちる様から、まさに「豪壮」という言葉がふさわしい滝です。かつては、富士山を背景に音止の滝を眺めることができましたが、周辺の人工林が生い茂り、富士山が見えにくい状態になっていました。市では、素晴らしい眺望をよみがえらせるため、人工林の間伐・伐採を行いました。

さまざまな樹木や花を植栽し、自然との調和を

人工林の間伐・伐採だけでなく、本来の植生を取り戻すため、眺望を妨げない高さの広葉樹や花を植栽します。
（具体的には、サクラやカエデ、ツツジ、サツキなどのほか、元々自生していたアジサイも植栽する予定です。）